

このプリントは、10月10日（日）に行われた本校の「体験入学」において中学生とその保護者の方々に配布したものです。高校選びの参考にしてもらったと思います。

## ありあけ新世高等学校を目指す中学生の皆さんへ

福岡県立ありあけ新世高等学校  
校長 山口英明

今日は皆さんに、「どのような中学生がありあけ新世高校に向いているか」ということを伝えたいと思います。

### (1) 県立高校の魅力

本校は、「筑後地区で唯一の県立の総合学科高校」です。私たちは「総合学科」である前に「県立高校」であることに誇りを持っています。では、まず県立高校の魅力とは何でしょう。

福岡県教育委員会の「県立高校ナビ」(<http://go-kenritsu.fku.ed.jp/Default2.aspx>)のHPに書かれていますので、詳しくはそちらを参考にしてもらいたと思いますが、私なりに解説してみたいと思います。

中学生の皆さんも「知・徳・体」という言葉を聞いたことがあると思いますが、一言で言うと、この3つをバランス良く身に付けることができるのが県立高校の一番の魅力です。

- ① 「知」～来年の4月から全国の高等学校では、公立・私立に関わらず「新学習指導要領」が実施されます。やさしく言うと、新しい教科・科目を学習したり、今までとは学習する内容が変わります。特に授業スタイルについては、先生が教えることが中心であった「一方通行型」から、生徒が考えることを支援する「相互通行型」の授業に変わります。県立高校の職員は、各学校や県教育センター等で研修を受ける機会に恵まれており、先生方が「授業のプロ」としての腕を磨いています。本校でも、PIL（Peer Instruction Lecture 生徒教え合い授業）やPBL（Problem Based Learning 問題解決型学習）に取り組むため、職員は授業手法を身につける努力を継続していきます。
- ② 「徳」～県立高校で学校行事を大切にしない学校はまずありません。言い換えれば、県立高校は学校行事にこだわっています。それは、1つの目標に向かって生徒全員が進んでいくことが、何よりも人間的成長につながることを私たちは知っているからです。現在の不透明な時代をたくましく生きるためには、高校という守られた環境の中で、いかにたくさんの成功体験、失敗体験をするかが大切です。多くの人とかかわり、幅広く見聞を広げる力、豊かにコミュニケーションをとる力を身に付けさせることに県立高校は時間と労力を惜しみません。本校でも「体育大会」「文化祭」をはじめ多くの学校行事が生徒の大いなる成長の場となっています。
- ③ 「体」～県立高校にはたくさんの種類の部活動があります。中学生の皆さんは、高校入学後に今までと同じ部活動に入るのもいいですし、新しい部活動に入るのもいいでしょう。県立高校では、学習と部活動とを両立して頑張ることができるようにサポートします。限られた時間の中で、集中して活動できるように工夫して練習し、仲間との絆をより一層深めています。「ALL県立」「県立魂」という言葉がよく使われるのは、その表れだと言えるでしょう。本校でも運動部だけではなく、文化部も心身共に成長できるよう楽しく活動しています。

### (2) 中学生が進路を考えるうえで大切なこととは

青年期は疾風怒濤（しっふうどとう）の時代だと言われます。中学生の皆さんは、日々、目の前の勉強に取り組まなくてはならない状況で、自分の将来の夢をゆっくりと考えることはなかなか難しく、時間ばかりが過ぎてしまう感覚を体験したことはないでしょうか。

私の専門科目は「地理歴史」の「日本史」です。高校で教壇に立つプロとして、一流の教授力を持っていると勝手に自負しています。(今では授業をする機会がないので「持っていた」が正しいかもしれません)しかし、私自身の小さい頃の進路意識といえ、小学校では世の中の病氣と闘う医者になりたいと作文に書き、中学では乗ったこともない飛行機のパイロットに憧れ、高校では国文学者である叔父の影響で勝手に自分に才能があると勘違いして国文学の道に進もうとした、という程度でした。高校で理系科目(特に物理と化学)に自分の能力の限界を感じ、大学受験に豪快に失敗し、浪人してからようやく歴史に目覚め、ただひたすらに勉強して努力したことが、今の自分の職業につながっています。

今、振り返ってみても、自分の将来に対しては怖くなるぐらい「悩み」や「迷い」の連続でした。特に、中学校3年生の時点で考えていた将来の職業と現在の職業とは全くかけ離れています。個人的な経験に過ぎないのですが、わずか中学校3年生、15歳でこれから40年以上も働く職業を決めてから高校選びをするというのは、私には少し無理があったのではないかと考えています。

つまり、**中学生が自分の進路を考えるうえで、最も大切なことは、「自分の可能性を不用意に狭(せば)めないこと」**だと私は思っています。好きな科目や運動種目だけに限定するのではなく、何にでも積極的にチャレンジすることが肝要(かんよう)です。もしも途中で軌道修正が必要になったときに、進むべき道が無くなって後悔しないように、中学校では、苦手科目や嫌いな分野も克服しようと努力することを心がけてください。

### (3) 本校が求める人材とは

最初の問いに戻ります。「どのような中学生がありあけ新世高校に向いているか」の答えですが、**それは、「高校3年間で自分の可能性を伸ばしたいと思っている人」**です。そして、そのために「高校で頑張ろうと思っている人」「努力をしたいと考えている人」「悩んでいる人」「迷っている人」もっとウェルカムです。

繰り返しますが、本校は、「筑後地区で唯一の県立の総合学科高校」です。「新世生よ、人生のプロデューサーたれ」の言葉通り、普通教科・専門教科のどちらの授業も受けることができ、大学・短大・専門学校への進学、公務員・就職まであらゆる進路が選べます。言うなれば、**皆さんの進むことのできる進路は無量大です**。自分でオリジナルの時間割が作れるために、授業に対する自己責任感が強く、モチベーションが高いのも本校の特長です。

また、本校は、将来の進路について深く考える「**キャリア教育**」については**県内でも有数の先進校**です。毎年12月に行われる「総合学科発表会」では1年間の取組の成果を発表し、自身のキャリアアップにつなげていきます。その他、地域貢献・ボランティア活動も本校教育の大切な活動の1つとなっています。

### (4) 最後に

私は、本当にいい高校というのは、充実感や達成感を味わう機会の多い学校だと考えています。つまり、**どうせ頑張るなら「楽しくなければ高校ではない!」**と思うのです。本校は生徒の主体性を最も大切にしています。自分たちで考え、自分で正しい道に進んでいく努力の過程には困難がつきものですが、全校生徒が心一つにしてみんなで頑張るからこそ笑顔で乗り切れるのです。「新世スマイル」と呼ばれる受け継がれてきた伝統は、本校及び本校生徒にとって大切な財産だと思っています。

中学生の皆さん、人生に悩みはつきものです。ましてや中学から高校にかけての多感な時期にいろいろな悩みがあって当然です。そのような中でも、**本校は、皆さんの人生を「一歩前に進める学校」「昨日より今日、今日より明日と成長させる学校」でありたいと思っています**。1人でも多くの中学生が本校を第一志望にし、高校入試を突破してこのありあけ新世高校に入学することを期待しています。